



福島原子力事故関連情報アーカイブ

Fukushima Nuclear Accident Archive

Title	中間貯蔵施設周辺復興地域の融合的な環境再生・環境創生に向けて
Alternative_Title	Toward integrated environmental restoration and creation in the recovery area around the interim storage facility
Author(s)	環境放射能除染学会 The Society for Remediation of Radioactive Contamination in the Environment
Citation	第 11 回環境放射能除染研究発表会要旨集, p.58 The 11th Workshop of Remediation of Radioactive Contamination in Environment
Subject	企画セッション 2
Text Version	Publisher
URL	https://f-archive.jaea.go.jp/dspace/handle/faa/251075
Right	© 2022 Author
Notes	禁無断転載 All rights reserved. 「第 11 回環境放射能除染研究発表会要旨集」のデータであり、発表内容に変更がある場合があります。 学会は発表の機会を提供しているもので、内容に含まれる技術や研究の成果について保証しているものではないことをお断りいたします。



中間貯蔵施設周辺復興地域の統合的な環境再生・環境創生に向けて

令和4年度から新たに開始された環境研究総合推進費・戦略的研究開発(II)「中間貯蔵施設周辺復興地域の統合的な環境再生・環境創生に向けた研究」(代表:国立環境研究所 遠藤和人)の構想を紹介するとともに、今まさに直面している帰還困難区域解除からいかに被災地復興に繋げていくか、関係するステークホルダーによる建設的な議論を行う。また、前段として、海外招聘講演として Catrinel Turcanu 氏から、IAEAにおける環境回復における合意形成フレームワークを検討する MAESTRI プロジェクトについてご紹介をいただき、日本の福島のを総括しつつ、後半の議論に繋げる。

1. 海外招聘講演(動画講演、日本語字幕付き予定)

「Sociotechnical frameworks and tools supporting decision-making for Environmental Remediation」

Catrinel Turcanu, Ph.D. (ベルギー原子力研究センター)

2. 環境研究総合推進費・戦略的研究開発(II)(S2-9)の紹介

遠藤和人(国立環境研究所)、他

3. 総合討論「帰還困難区域の今後の方向性について」

万福裕造(農業・食品産業技術総合研究機構)、他